

自己推薦書・学科別テーマ

大学
短期大学

自己アピール入試・神女ファミリー入試で受験する場合、
自己推薦書の学科志望欄に希望する学科の志望理由を下記の内容を参考に記入してください。

大学		テーマ
文学部	日本語 日本文学科	本学科は、日本語・日本文学に関心を抱き、その歴史的な変遷を視野に入れ、日本の社会・文化の特質を解明することによって、現代社会のさまざまな分野で貢献できる人間の育成を目指し、次のような学生を求めています。 ①日本語・日本文学に関する理解を深め、その知見に基づいて社会に貢献しようとする人。 ②能・狂言・浄瑠璃、歌舞伎などの古典芸能に関心を抱き、日本文化の継承に興味がある人。 ③日本語を用いたコミュニケーションの模態に精通し、それを活かした分野で働こうとする人。 ④外国人のための日本語教育に取り組み、国際交流に尽力しようとする人。
	英語英米文学科	英語および英米文学・文化、英語教育に強い関心を持ち、「異なること」への共感力と想像力を培うことによって国際感覚を身につけ、英語にかかわるさまざまな分野でキャリアを目指す以下の人を求めています。 ①英語、英米文学・文化、英語教育を学ぶことによって将来の夢を実現したいという明確な目的意識を持っている人。 ②さまざまなボランティア活動や課外活動に積極的に取り組み、社会や人々とふれあうことに興味を持っている人。 ③海外ホームステイや学校内外の国際交流プログラムなどに積極的に参加したことのある人、あるいは機会があれば参加したいと考えている人。
	国際教養学科	幅広い実践的な国際教養を身につけ、外国語(英語、中国語/韓国語/朝鮮語)をコミュニケーションのツールとして学び、国の内外を問わずさまざまな国際分野で活躍でき、また世界の平和と共生のために貢献できる、行動力のある人材の育成を目指しています。そこで次のような点に関する興味や意欲を大切に考えています。 ①グローバルな問題(国際情勢や地球環境)などに興味がある。②英語圏だけでなくアジア地域の文化や言語に興味がある。 ③国際協力団体や国際交流団体、ビジネス界などの活動の現場に興味がある。 ④参加体験型学修や学外活動に積極的に参加し行動することに興味がある。
	史学科	以下のような関心や視点を持ち、歴史学を深く探究していこうとする人を求めます。 ①日本はもとより世界各地の歴史に対する幅広い視野を持ち、文化の発展や交流の歴史を解き明かそうとする人。 ②人間に対する興味を強くもち、人類の活動の所産である考古資料・文献・民俗などを通して歴史を究めようとする人。 ③社会の仕組みに対する関心を持ち、現在の政治・経済・社会などの成り立ちを歴史的に解明しようとする人。 ④地域の特質に興味をもち、多くの踏査や比較検討を通して、各地域の成り立ちを歴史的に解明しようとする人。 ⑤女性の視点を活かし、女性史の立場から、あるいは男女の活動の所産として歴史像を描いていこうとする人。
	教育学科	実践的な指導力、社会の有り様から教育・保育を見直す洞察力をもったスペシャリスト育成を目指すために、以下のような人を求めています。 ①子どもへの深い愛情と教育・保育への強い意欲を持っている人。②感性が豊かで、子どもをめぐる環境に関心を持っている人。 ③問題意識をもって、課題に取り組むことができる人。 ④子どもの発達過程全体を対象とした教育・研究に深い関心を持っている人。 ⑤地域の人たちと連携して教育・保育を実施していける人。 ⑥教育や保育の歴史に関心を持ち、現代に必要な日本の教育・保育について学びたい人。
家政学部	家政学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが大学で学びたいことや将来の進路について具体的に盛り込んで、自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーは、P.60家政学科を参照してください。
	管理栄養士 養成課程	食生活を改善して、健康な体を維持させ、生活の質を向上させることで社会的に貢献することが管理栄養士の重要な任務です。この目標を達成するためには、自分の指導方針を相手に納得させることが必要です。 ①自分の主張を押し付けるのではなく、主張の背景を理論的に説明して、相手を納得させようと努力する人。 ②相手の主張にも耳を傾けて、その根拠を解明しようとする思いやりのある人。
健康福祉学部	社会福祉学科	福祉社会の実現のために、福祉のこころと豊かな人間性を備え、人権を尊重しコミュニケーション能力を高めて主体的に考え行動し、かつ柔軟な発想で開発・実行できる人材を育てます。具体的には、次のような人を求めます。 ①自分を大切にでき、他者のために幸せな社会を実現したいと考えている人。 ②家庭・地域社会・職場を基盤として社会貢献したい人。③社会福祉専門職として活躍したい人。
	健康スポーツ 栄養学科	健康を維持増進するためには、「栄養・運動・休養」の3つのバランスが大切な要素です。 健康スポーツ栄養学科では、適切な食事指導と運動指導、その両方を提供できる栄養士を養成するため、①「アスリートに対する食事・栄養指導」、②「子どもから高齢者までの運動と食育・栄養教育」、③「世界の食生活と栄養」などを柱に体験的に学べるカリキュラムを構成しています。 文中の①～③の中からあなたが最も興味深いと思われるテーマを選択し、自己推薦文を作成してください。
看護学部	看護学科	女性の可能性を拓く豊かな教養と深遠な知の獲得により、様々なコミュニティにおいて自らの役割を果たす判断力と実践力を身につけ、地域や社会の保健医療福祉の場において自立して活動できる看護の専門職を養成します。そのため、次のような人を求めています。 ①看護職として社会に貢献する意欲のある人。②人との関わりを大切にしたい人。 ③自らの成長を希求する人。④文化と看護の融合に関心がある人。
心理学部	心理学科	本学科のアドミッション・ポリシーを参考にして、あなたが大学で心理学を学ぶことによりどのようなことを修得したいのか、また、将来どのような分野で活躍したいと考えているのか具体的に記した自己推薦文を作成してください。アドミッション・ポリシーはP.61心理学科を参照してください。

短期大学	
総合生活学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.61総合生活学科を参照してください。
食物栄養学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.61食物栄養学科を参照してください。
幼児教育学科	本学科のアドミッション・ポリシーにふさわしい学生を求めています。アドミッション・ポリシーは、P.61幼児教育学科を参照してください。

年内の入試
▼ 社会人・AO入試概要
一年内の入試の合格者への学習課題
— 自己推薦書・学科別テーマ